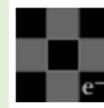


# 独自技術に基づく複数の事業テーマで「仕込み」を充実

会社名 アーテック株式会社  
 所在地 長崎県大村市大川田町435-3  
 従業員 7名  
 資本金 300万円  
 売上高 1億円  
 業種 室内環境改善用木炭塗料、防蟻・防腐用木炭塗料、室内環境改善システムの製造・販売



アーテック株式会社  
carbon electric

## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 当社の独自技術“アーテックポリマー”を活用した製品について、既存事業の販売エリアの拡大および新たなマーケット展開を図る。
- 独自かつ多用途展開が可能な基礎技術を活用した事業拡大にあたり、知的財産の保護・他社権利対応・ブランド化を念頭に置いた知財戦略の構築と実行を目指す。

## 支援を受けてできるようになったこと

After

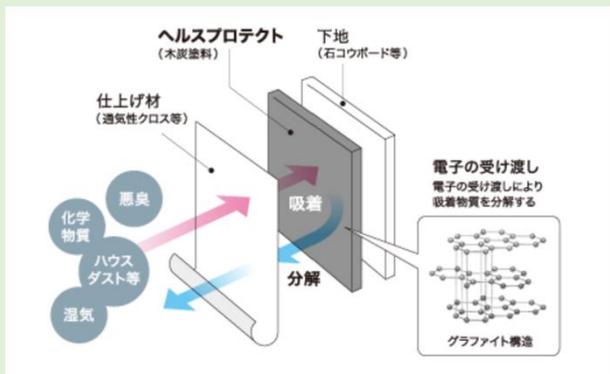
- 当社の独自技術・基本材料に基づく複数の事業テーマについて検討を行い、事業拡大に向けた「仕込み」の充実を図ることができた。
- 支援を通じて知的財産への意識が高まり、顧客への対応にも活かされている。

## 今後の事業展開の展望

Future

- 各テーマについて事業化を進め、売上増加につなげる。
- 事業展開上重要な特許出願を早期に対応し、「アーテック」のブランド価値向上に向けた取組を進める。

## 加速的支援を受けた事業や商材



『ヘルスプロテクト』は、木炭と通気性ポリマーとを独自配合した“アーテックポリマー”を塗料化した機能性塗料である。タバコやペットの臭い、体臭などの嫌な臭い、台所から発生する悪臭、湿気、接着剤などの建築材料や家具などから発生するホルムアルデヒドをはじめとする化学物質など、室内の壁や天井に塗られた『ヘルスプロテクト』の表面にある無数の穴がこれらを吸着し、木炭の電子の力で分解。よどんだ室内の空気を澄んだ空気に変えて、体に優しい室内環境を生み出す。

【出典】アーテック株式会社

<https://www.artech-c.co.jp/index.html>



## 加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
ビジネスモデルの整理	事業テーマの位置づけと優先順位を確認し、強みやポジショニング等の検討を行った上で方向性を明らかにする必要がある。
知財戦略の策定と実行	販路拡大、海外展開を行う上で必要な知財ポートフォリオの再検討、知財戦略の検討が必要である。
海外展開に向けた体制の整備	海外展開に応じた外部パートナーとの契約対応、知財権の取得、クリアランス確認が必要である。
ブランド戦略及びマーケティング戦略の策定と実行	“知る人ぞ知る企業”からの脱却を図るため、ブランド戦略の検討が必要である。ブランド戦略を重視し、販路拡大するためのマーケティング戦略の構築が必要である。
開発戦略の策定と実行	製品ターゲットを設定し、具体的な開発ロードマップとアクションプランの策定・実行が望まれる。
社内体制の整備	事業拡大を見据えた社内体制構築及びパートナー確保が必要である。

## 加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
ビジネスモデルの整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>“アーテックポリマー”を基本材料とした用途展開のテーマを複数検討し、ビジネスモデルキャンバスを使って事業を整理し、事業成長の仕込みを充実させることができた。</li> </ul>	中小企業診断士
知財戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品と特許権の権利範囲の関係確認、特許情報分析を通じた知財権取得の検討や他社クリアランスチェックの重要性について理解を深め、具体的な対応を進めることで、知財意識が高まった。</li> </ul>	弁理士
海外展開に向けた体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外展開を進めるにあたり、海外パートナーとの契約等留意すべきことへの理解を深めることができた。</li> </ul>	海外知財PD 弁理士
ブランド戦略及びマーケティング戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブランド戦略と情報発信、ホームページ改定等を進めるとともに、商標登録出願の検討も進めることができた。</li> </ul>	WEBデザイナー 弁理士
開発戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発テーマ別に知的財産やパートナーの状況を確認し、成果の扱いについて整理することができた。</li> </ul>	弁理士
社内体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援を通じて、社内の意識共有を促進する土台を構築できた。</li> </ul>	中小企業診断士 弁理士

## 支援チーム紹介

主担当専門家: 弁理士 藤掛宗則

活用専門家: 弁理士、中小企業診断士、WEBデザイナー、海外知財PD

知財総合支援窓口担当者: 長崎県知財総合支援窓口 古賀貞博

PO(プログラムオフィサー): 田中和男